



平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月6日

上場会社名 株式会社 ワキタ

上場取引所 東

コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田俊夫

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	32,426	12.5	3,007	3.5	3,087	2.0	2,094	32.3
29年2月期第2四半期	28,816	1.3	3,115	20.2	3,150	21.1	1,583	37.5

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 2,433百万円 (47.5%) 29年2月期第2四半期 1,649百万円 (34.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	40.28	
29年2月期第2四半期	30.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	116,351	88,769	76.3
29年2月期	113,654	87,896	77.3

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 88,769百万円 29年2月期 87,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		30.00	30.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	4.2	6,800	3.4	6,900	3.0	4,700	26.4	90.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	52,021,297 株	29年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	17,257 株	29年2月期	16,854 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	52,004,204 株	29年2月期2Q	52,004,708 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果もあり、設備投資の持ち直しや雇用環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では東アジア地域における地政学的リスクの高まりによる為替相場への影響懸念など、先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループを取り巻く環境におきましては、大都市圏における再開発事業など民間設備投資で明るい兆しが見え始めましたものの、建設資材や労務費高騰の影響による公共工事の遅延など、依然経営環境は厳しい状況が続いております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、324億26百万円(前年同期比12.5%増)、営業利益は30億7百万円(前年同期比3.5%減)、経常利益は30億87百万円(前年同期比2.0%減)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は、20億94百万円(前年同期比32.3%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業の販売部門では、設備投資の持ち直しにより売上高は順調に推移いたしました。賃貸部門においてはレンタル需要が底堅く推移し売上高は増加したものの、受注競争による単価の下落や過去の設備投資に係る原価の高止まりの影響を受け、利益面では減益となりました。

その結果、建機事業全体の売上高は、213億86百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益は、19億80百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

② 商事事業

商事事業では、遊戯設備等の売上高は維持したものの競争激化による利益率の低下により、増収減益となりました。

その結果、商事事業全体の売上高は、86億2百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は、3億4百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門の売上高・利益ともに順調に推移いたしました。また、販売部門は宅地分譲の販売が業績に寄与し、当該事業全体として増収増益となりました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、24億37百万円(前年同期比17.0%増)、セグメント利益は、7億22百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億96百万円増加し、1,163億51百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加23億91百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億24百万円増加し、275億81百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加13億72百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億72百万円増加し、887億69百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加5億34百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は76.3%、1株当たり純資産額は1,706円97銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ6億72百万円(2.4%)増加し、286億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、29億94百万円(前年同期は31億2百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益30億92百万円、減価償却費17億91百万円、売上債権の増加額23億91百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、6億48百万円(前年同期は5億53百万円の減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入18億10百万円、有価証券の取得による支出8億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、29億71百万円(前年同期は35億55百万円の減少)となりました。これは主に、設備関係割賦債務の返済による支出13億39百万円、配当金の支払額15億57百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月7日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,163	25,503
受取手形及び売掛金	23,934	26,326
有価証券	4,648	3,980
商品	1,337	1,701
貯蔵品	53	90
その他	450	488
貸倒引当金	△107	△150
流動資産合計	55,481	57,940
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	6,084	5,879
賃貸不動産(純額)	36,624	36,532
土地	5,856	5,856
その他(純額)	2,776	2,713
有形固定資産合計	51,342	50,982
無形固定資産		
のれん	816	751
その他	268	238
無形固定資産合計	1,084	989
投資その他の資産		
投資有価証券	4,239	4,937
退職給付に係る資産	316	324
その他	1,404	1,390
貸倒引当金	△216	△213
投資その他の資産合計	5,745	6,438
固定資産合計	58,172	58,410
資産合計	113,654	116,351
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,475	11,847
1年内返済予定の長期借入金	136	136
未払法人税等	384	1,130
賞与引当金	161	228
その他	5,461	4,916
流動負債合計	16,619	18,260
固定負債		
長期借入金	79	11
役員退職慰労引当金	328	337
債務保証損失引当金	81	81
退職給付に係る負債	76	81
その他	8,571	8,810
固定負債合計	9,137	9,321
負債合計	25,757	27,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	58,332	58,866
自己株式	△18	△18
株主資本合計	88,762	89,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,346
土地再評価差額金	△1,914	△1,914
退職給付に係る調整累計額	45	39
その他の包括利益累計額合計	△866	△527
純資産合計	87,896	88,769
負債純資産合計	113,654	116,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	28,816	32,426
売上原価	22,288	25,693
割賦販売未実現利益繰入額	233	228
割賦販売未実現利益戻入額	328	215
売上総利益	6,622	6,720
販売費及び一般管理費	3,507	3,712
営業利益	3,115	3,007
営業外収益		
受取利息	33	13
受取配当金	37	49
為替差益	-	4
その他	64	52
営業外収益合計	135	119
営業外費用		
支払利息	48	38
為替差損	32	-
その他	20	1
営業外費用合計	100	39
経常利益	3,150	3,087
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	0	6
抱合せ株式消滅差益	59	-
特別利益合計	66	7
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	1	2
役員退職慰労金	745	-
その他	6	-
特別損失合計	756	2
税金等調整前四半期純利益	2,460	3,092
法人税、住民税及び事業税	570	1,015
法人税等調整額	307	△17
法人税等合計	877	997
四半期純利益	1,583	2,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,583	2,094

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	1,583	2,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	344
土地再評価差額金	28	-
退職給付に係る調整額	△7	△5
その他の包括利益合計	65	338
四半期包括利益	1,649	2,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,649	2,433
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,460	3,092
減価償却費	1,846	1,791
のれん償却額	32	65
貸倒引当金の増減額(△は減少)	24	40
賞与引当金の増減額(△は減少)	26	67
退職給付に係る資産及び負債の増減額(△は減少)	△46	△11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△668	8
受取利息及び受取配当金	△71	△62
支払利息	48	38
有形固定資産除売却損益(△は益)	△1	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△6
売上債権の増減額(△は増加)	328	△2,391
たな卸資産の増減額(△は増加)	△191	△401
仕入債務の増減額(△は減少)	△254	1,372
その他	350	△353
小計	3,884	3,249
利息及び配当金の受取額	71	84
利息の支払額	△48	△38
法人税等の支払額	△804	△300
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,102	2,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△800
有形固定資産の取得による支出	△196	△177
有形固定資産の売却による収入	3	3
投資有価証券の取得による支出	△809	△203
投資有価証券の売却及び償還による収入	222	1,810
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	16	12
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△21	-
その他	234	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△553	648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190	-
長期借入金の返済による支出	△477	△68
リース債務の返済による支出	△6	△5
設備関係割賦債務の返済による支出	△1,328	△1,339
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,553	△1,557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,555	△2,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,039	672
現金及び現金同等物の期首残高	23,147	28,011
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	19	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,127	28,684

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,478	8,255	2,082	28,816	—	28,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	6	—	98	△98	—
計	18,570	8,262	2,082	28,915	△98	28,816
セグメント利益	2,079	351	684	3,115	△0	3,115

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建機事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、有限会社リフテックの株式を取得し、同社及び同社子会社の八洲商会株式会社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結累計期間において8億81百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,386	8,602	2,437	32,426	—	32,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	5	—	117	△117	—
計	21,498	8,607	2,437	32,543	△117	32,426
セグメント利益	1,980	304	722	3,007	△0	3,007

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。